

海軍公報

第二千八十五號

海軍大臣官房

大正八年九月一日(月)

○令達

官房第三〇五二號
特命檢閱使乘艦中軍艦滿州ニ割烹一名ヲ増加ス

大正八年九月一日

海軍大臣 加藤友三郎

○辭令

○大正八年八月二十二日

任海軍書記

給十級俸

○大正八年八月三十日

任海軍書記

給八級俸

○大正八年九月一日

(各通)

任海軍豫備一等兵曹

任海軍豫備一等機關兵曹

中山 敬二

可兒 立輔

藤田 政二

上野 爲次郎

神戸 友三

○艦船所在

△印(ハカホシ) 指定ヲ要セス

海軍技術本部附ヲ命ス(ハカシ海軍省)	海軍書記	中山 敬二
吳海軍工廠附ヲ命ス	海軍書記	可兒 立輔
吳海軍工廠廣支廠設立準備委員ヲ命ス	海軍技師	武井 彌八
歸朝ヲ命ス(以上ハ海軍省)	海軍技手	山足 三郎

○九月一日午前十時朝

【横須賀】 朝日、生駒、春日、八雲、富士、橋立、

天龍、滿州、夕立、夕暮、三日月、白露、

吹雪、有明、陽炎、朧、櫻、樞、不知火、薄雲、

浦風、潜一、潜二、潜三、雄、鳴瀨、白鷹、

高崎、青島、勝力、關東、潜〇一、華丙

【清】 津輕

【大】 湊、追風、彌生、夕風、疾風、膠州

吳、口山城、伊勢、日向、扶桑、攝津、薩摩、

鹿島、若宮、樺名、比叡、霧島、金剛、常磐、淺間、

矢矧、千歲、明石、周防、千代田、石見、駒橋、

海軍公報第二千八十五號

大正八年九月一日

七一五

0748

大出

龍田、巨海風、山風、檜、櫻、巨樟、桑、椿、榎、平月、
 筑摩、巨浪風、磯風、天津風、巨谷風、江風、巨初雪、
 初春、春風、時雨、潜一五、巨潜一、潜一〇、潜一二、
 潜一九、巨潜三、潜四、潜五、潜六、潜七、潜一四、
 巨水六八、水六七、水七〇、水七一、野間、辨天丸、劍崎
 神 巨 梨、竹
 佐、世保、肥前、出雲、敷島、球磨、沖島、巨桂、
 楓、梅、楠、巨杉、松、柳、柏、巨樫、檜、桃、
 柳、巨燕、雁、蒼鷹、鶴
 長 崎 澤風、
 種子島 志自殿
 舞 鶴 巨伊吹、鞍馬、香取、安藝、日進、吾妻、
 新高、見島、巨浦波、磯波、綾波、巨朝風、若葉、潮、
 子日、峯風、巨時津風、三池丸
 鎮 海 巨朝潮、白雲、村雨、朝霧
 旗 順 巨水無月、長月、菊月、卯月、鶉、雲雀
 青 島 巨蟹、鯛
 馬 公 秋津洲、巨檜、櫻、樟、桐、勞山
 南洋群島 最上、松江、花咲丸
 加那利群島 巨千早、初霜、巨水七三、水七二、水七四、
 水七五
 加那利群島 對馬
 浦羅斯德 巨三笠
 上海 巨野分
 鎮 江 白雲

南 京 松風
 九 江 龍
 漢 口 巨須磨、淀、宇治
 城 陵 隅田
 重 慶 鳥羽
 香 港 盤城
 新 嘉 坡 巨磐手
 航海中
 響、神風(八月二十四日「ニコラインスク」發北樺太
 東岸)
 室戸(八月二十六日舞鶴發「ホンガイ」)
 利根(八月二十六日新嘉坡發「タワオ」)
 洲崎丸(八月二十七日佐世保發)
 巨如月(八月二十八日加斯土里斯灣發「ニコラインス
 ク」)
 潜〇二、潜〇四、潜〇六(八月三十日神戸發具)
 伏見(八月三十日漢口發長沙)
 潜〇五(八月三十一日函館發船川)
 潜〇三、潜〇七(八月三十一日小樽發船川)
 阿蘇、韓崎、巨潜一六、潜八、潜九、潜一七(八月三十
 一日徳山發具)
 野島(一日徳山發橫須賀)

○ 雜 款

0749

○特命檢閱使出發
伊集院特命檢閱使ハ聯合艦隊ノ特命檢閱ヲ行フ爲來ル
十日午前八時三十分東京驛出發ノ豫定

○旗艦變更
第一遣外艦隊司令官ハ八月三十一日旗艦ヲ淀ヨリ須磨
ニ變更セリ

○郵便物發送先
工作船關東宛

九月十日迄ニ到達見込ノモノハ
福岡縣西戸崎
横須賀 留置
其ノ後ハ

○工作船關東第二回行動豫定

地名 著 發

横須賀 九月 四日 九月 一日

西戸崎 九月 十四日 十一月 十一日

横須賀 九月 十四日

○虎列刺

八月三十日臨時青島防備隊軍醫長發電

二十九日眞症一名、疑似三名發生省內眞症ト決定セシ
者四名、二十九日迄ノ累計眞症日本人三十四、支那人
三十五、疑似日本人十一、支那人十二、死亡セシ者日
本人十、支那人二十四
八月三十日内務省衛生局報告
八月二十九日 福岡縣金敷郡一名眞症發生

日計		同縣田川郡二名疑似發生	
眞症	一名	眞症	九名
疑似	二名	疑似	九名
累計		(海港檢疫)	
眞症	五十名	眞症	九名
疑似	二十九名	疑似	九名
保菌者	十二名	保菌者	九名

0750

海軍公報

第二千八百十六號

海軍大臣官房

大正八年九月二日(火)

○通牒

海軍省人事局長 谷口 尙 眞
海軍省人事局長 谷口 尙 眞
海軍省人事局長 谷口 尙 眞

各廳長 殿

叙位叙勳具申ニ關スル件
上ニシテ特ニ命ヲ受ケ服務スル者ニ對スル叙
位叙勳具申ハ履歷書副本ヲ保管スル勤務廳長ニ於テ
成度
存案
進ス

○辭令

大正八年九月一日
任海軍技手 東 次郎吉
給六級俸
舞鶴海軍工廠附ヲ命ス 海軍技手 東 次郎吉
英國へ出張ヲ命ス 海軍技手 山本 松藏
海兵造兵大技士男爵 向山 均
佛國駐在中自今加俸三千五百圓ヲ給ス(以上均海軍省)

海軍公報第二千八百十六號 大正八年九月二日

海軍書記 中山 敬二
海軍技術本部副官附ヲ命ス(均海軍技術本部)

海軍技手 白石 顯二
海軍造兵廠附ヲ免シ海軍技術本部勤務兼造兵監督助
手海軍造兵廠勤務ヲ命ス

海軍技手 白石 顯二
製造部勤務ヲ命ス(以上均海軍造兵廠)

○艦船所在

▲印(ハキ)ノ
指定ヲ受ケル

○九月二日午前十時調

【横須賀】 朝日、生駒、春日、八雲、富士、橋立、
天龍、瀧州、夕立、夕暮、三日月、白露、
吹雪、有明、陽炎、驅、樞、不知火、薄雲、
浦風、潜一、潜二、潜三、潜四、雄、鴻、白鷹、
高崎、青島、勝利、關東、潜〇一
【水】 津輕
【大】 津輕
【吳】 口山城、伊勢、日向、扶桑、攝津、薩摩、
鹿島、若宮、比叡、磐島、金剛、常磐、淺間、
矢矧、千歲、明石、周防、千代田、石見、駒橋

七一九

0751

▶龍田、巨海風、山風、楠、榎、巨樺、桑、椿、榎、▶平戸、
 鏡摩、巨濱風、磯風、天津風、巨谷風、江風、巨初雪、
 初春、春風、時雨、▶阿蘇、韓崎、巨潜一六、潜八、
 潜九、潜一五、潜一七、巨潜一一、潜二〇、潜二二、
 潜一九、巨潜三、潜四、潜五、潜六、潜七、潜一四、
 巨水六八、水六七、水七〇、水七一、野間、辨天丸、劍埼、
 潜〇二、潜〇四、潜〇六
 【神】 巨梨、竹
 【佐世保】 肥前、出雲、敷島、球磨、沖島、巨桂、
 楓、梅、楠、巨杉、松、柳、巨樫、巨檜、巨松、巨桃、
 柳、巨燕、雁、蒼鷹、鵲
 【長】 巨澤風
 【種子島】 志自岐
 【舞鶴】 巨伊吹、鞍馬、香取、安藝、日進、吾妻、
 新高、見島、巨浦波、磯波、綾波、巨朝風、若葉、潮、
 子日、岩風、時津風、巨三池丸
 【船】 巨川、巨潜〇三、潜〇五、潜〇七
 【鎮】 巨海、巨朝潮、白雲、村雨、朝霧
 【旅順】 巨水無月、長月、菊月、卯月、朝、雲雀
 【青島】 巨鷺、鶴
 【馬】 秋津洲、巨橋、櫻、桐、勞山
 【南洋群島】 最上、松江、花咲丸
 【Singapore】 巨如月、初霜、巨水七三、水七二、水七四、
 水七五
 【加那利群島】 對馬

【浦羅斯德】 ▶三笠
 【上海】 巨野分
 【鎮江】 巨白雲
 【南京】 巨松風
 【九江】 巨松風
 【漢口】 ▶須磨、淀、宇治
 【重慶】 巨鳥羽
 【香港】 巨巒峨
 【新嘉坡】 ▶碧手
 【航海中】
 響、神風(八月二十四日「ニコライフスク」發北樺太
 東岸へ)
 室戸(八月二十六日舞鶴發「ホンガイ」へ)
 利根(八月二十六日新嘉坡發「タワオ」へ)
 洲崎丸(八月二十七日佐世保發)
 伏見(八月三十日漢口發長沙へ)
 華丙(八月三十日橫濱發)
 隅田(八月三十一日城陵磯發漢口へ)
 野島(一日徳山發橫須賀へ)
 ▶千早(一日「ニコライフスク」發「オホツク」方面へ)

○雜款

○運用術練習艦富士行動豫定

地名	著	發
横須賀	九月九日	九月六日
縣洞	九月十四日	九月十三日
佐世保	九月十八日	九月十六日
青島	九月二十四日	九月二十一日
吳賀	九月二十四日	九月二十五日
横須賀	九月二十七日	

○郵便物發送先

第三艦隊司令部、伊吹、鞍馬宛
 九月十七日迄到達見込ノモノハ
 同 二十一日迄 同 鳥取縣境
 同 二十四日迄 同 舞鶴
 同 二十七日迄 同 福井縣敦賀
 其ノ後ハ 島根縣杵築
 佐世保
 運送船劍崎宛
 九月七日迄到達見込ノモノハ
 其ノ後ハ 佐世保
 吳留置
 軍艦生駒宛
 九月十日迄到達見込ノモノハ
 同 十五日迄 同 徳山
 同 十八日迄 同 佐伯
 其ノ後ハ 横須賀

○赴任
 佛國駐在仰付ラレタル海軍大尉小林宗之助ハ來ル二十日神戸出港ノ津山丸ニテ赴任ノ豫定

志自腕主計長心得海軍中主計從七位勳六等森俊一ノ納骨式ヲ來ル四日午前九時小石川區原町一行院ニ於テ執行

○虎列刺
 九月二日內務省衛生局報告

日計	月日	府縣	發生ノ場所	眞	疑	保菌	新患	者
三十一日	八月三十日	福岡	田川郡、遠賀郡、田川郡、小倉市	四	一		二	
		沖繩	八重山郡石垣村		二			
		大分	北海部郡		一			
		福岡	企救郡	二				
		福岡	企救二、田川一、鞍手一、小倉一	五				
六三四								
一								
三								

海軍本報第二千八百六十六號 大正八年九月二日

七二二

0753

海軍公報

第二千八十七號

海軍大臣官房

大正八年九月三日(水)

○通牒

海人第二五號ノ二

大正八年九月三日

海軍省人事局長 谷口 尙 眞

各 廳 長 殿

離現役海軍軍人ニシテ再ニ海軍部内

就職者ニ關スル件

本件ニ關シ本年三月海人第二五號(八年三月八日)ヲ以テ

及照會置候處其ノ後ノ任免改氏名等通知洩ノ向有之候

條爾今洩レナク通報相成度

追テ通報未濟ノ向ハ此ノ際取纏メ至急通報相成度

右照會ス

官房第三〇七二號

大正八年九月三日

海軍省副官 小林 躋 造

各廳長殿

臨時海軍派遣隊員ノ防寒被服ニ關スル件

臨時海軍派遣隊員冬營中ノ防寒被服ハ一切官品ヲ貸與

セラルル筈ニ付自今該派遣隊ヘノ赴任者ハ別段是等ノ

準備ヲ要セサル趣同隊副官ヨリ通知有之候
右通牒ス

○辭令

海軍機關中佐 吉岡 保貞

第一課兼第二課勤務ヲ命ス(請海軍省軍務局)

○艦船所在

△印(ハ)★印
指定ヲ要セス

○九月三日午前十時朝

【横須賀】 朝日、生駒、春日、八雲、富士、橋立、

天龍、滿州、日夕立、夕暮、三日月、白露、

吹雪、有明、陽炎、臘、曙、樺、榎、不知火、薄雲、

浦風、巨港、潜二、潜三、巨雄、鷗、鴻、白鷹、

高崎、青島、勝利、野島、潜〇一

【大 湊】 巨追風、彌生、夕風、疾風、膠州

吳 巨山城、伊勢、日向、扶桑、巨攝津、薩摩、

鹿島、若宮、巨榛名、比叡、霧島、金剛、巨常磐、淺間、

矢矧、千歲、明石、周防、千代田、石見、駒橋、

巨龍田、巨海風、山風、檜、巨梅、桑、椿、楨、巨平戶、

海軍公報第二千八十七號 大正八年九月三日

七二三

0754

筑摩、戸復風、磯風、天津風、戸谷風、江風、戸初雪、
 初春、春風、時雨、戸阿蘇、嶽崎、戸潜一六、潜八、
 潜九、潜一五、潜一七、戸潜一一、潜一〇、潜一二、
 潜一九、戸潜三、潜四、潜五、潜六、潜七、潜一四、
 戸水六八、水六七、水七〇、水七一、野間、辨天丸、劍埼、
 潜〇二、潜〇四、潜〇六

神 戸 梨、竹
 佐世保 肥前、出雲、敷島、球磨、沖島、戸桂、
 楓、梅、楠、戸杉、松、柳、戸榎、柏、戸樺、櫨、桃、
 柳、戸燕、雁、蒼鷹、鶴

長 崎 澤風
 種子島 志自岐
 舞 香取、安藝、日進、吾妻、新高、見島、
 戸浦波、磯波、綾波、戸朝風、若葉、潮、子日、峯風、
 時津風、三池丸

船 川 潜〇三、潜〇五、潜〇七
 鎮 海 戸朝潮、白雲、村雨、朝霧
 旅 順 戸水無月、長月、菊月、卯月
 青 島 戸鷺、鶴、鶉、雲雀

馬 公 秋津洲、戸橋、櫻、桐、勞山
 南洋群島 最上、松江、花咲丸
 戸如月、初霜、戸水七三、水七二、水七四、
 水七五

加那利群島 對馬
 浦羅斯德 戸三笠

上 海 戸野分
 鎮 江 白雲
 南 京 松風
 九 江 蔽
 漢 口 戸須磨、淀、宇治
 長 沙 伏見
 重 慶 鳥羽
 香 港 艦織
 新嘉坡 戸磐手

航海中
 響、神風(八月二十四日)「ニコライフスク」發北樺太
 東岸()
 室戸(八月二十六日舞鶴發)「ホンガイ」()
 利根(八月二十六日新嘉坡發)「タワオ」()
 洲崎丸(八月二十七日佐世保發)
 華丙(八月三十日橫濱發)
 兩田(八月三十一日城陵磯發漢口())
 千早(一日)「ニコライフスク」發「オホツク」方面()
 關東(一日)橫須賀發西戶崎()
 戸伊吹、鞍馬(二日)舞鶴發三保灣()
 津輕(三日)清水發橫須賀()

○ 雜 款

○南廻第二巡航隊巡航豫定變更(八月十三日)
 舊獨國潜水艦第二巡航隊巡航豫定表中大分縣以下左ノ
 通變更セラレタリ(海軍省副官)

府縣寄港地名	同航艦	月入日(時)	月出日(時)	碇泊日數	觀覽日數	記事
大分	霧雲	九、七後二〇	九、〇前七三〇	三	二	
長崎	同	九、二後二〇	九、五前八〇	四	三	
同	同	九、五後三〇	九、〇前八〇	五	四	
香川	同	九、三後四〇	九、五前八〇	三	二	
廣島	同	九、六後二〇	九、六前八〇	二	一	
同	同	九、六前九三〇	九、二前八〇	三	二	
同	同	九、二前二〇				

○郵便物發送先
 九月十日以後特命檢閱使一行宛郵便物發送先左ノ通
 九月十六日迄ニ到着見込ノモノ
 佐伯海軍艦滿州特命檢閱使(附)
 右以後ハ海軍軍令部氣付

○運送船劍崎第十六回行動豫定

地名 著 發
 吳 九月四日 九月三日
 佐世保 九月八日 九月七日
 吳

○外國出張
 英國へ出張ヲ命セラレタル海軍造船少監佐々初喜ハ來ル七日午後七時東京驛發九日神戸出帆ノ伊豫丸ニテ渡英ノ筈

○追加
 本年八月二十五日海人第七五號特別進級取扱ニ關スル件(八月二十五日)中官職氏名ノ下ニ「准士官下士卒ニ在リテハ六年二月七日以降ノ勤務廳並其ノ命免日」ヲ追加ス

○共濟組合診療所創設
 海軍共濟組合旅順診療所ヲ創設シ九月一日ヨリ事業ヲ開始ス(艦政局)

○虎列刺
 九月三日内務省衛生局報告

發生月日	府縣	發生ノ場所	新患者
九月一日	山口	厚狹郡厚南村、須惠村	眞疑保菌(疑似)決定

海軍公報第二千八百七號 大正八年九月三日

七二五

0756

累計	九月一日	福岡	天長丸三等船客	○海港檢疫ニ依ル患者發見ノ分	累計	日計	同	沖繩	八重山郡	同	企救郡	同	小倉二、田川一	福岡	鞍手一、田川一、小倉一、企救一	同	同	郡厚南村	
九	一				六	五													
一					七	一五	四	九		一	三								一
二					一四	一													一
						四													

(附録三頁)(部内限二頁)

0757

海軍公報第二千八百七十七號附録

大正八年九月三日(水)
海軍大臣官房

○ 雜 款

○ 圖書

去ル八月中納庫セル圖書左ノ如シ(海軍省文庫)

和漢書ノ部

第二門

過激派 石川六郎編 大正八 (新時代叢書ノ内)

歐洲最近の社會問題 法學博士桑田熊蔵著 大正六

第三門

ウイロンン 石川六郎編 大正八 (新時代叢書ノ内)

第四門

今日の南米及び渡航移住案内 瀧川龜太郎著 大正八

第六門

海軍軍醫官の本務と覺悟

海軍々醫總監鈴木裕三述 大正八

第七門

應用力學 工學博士田中不二著

第一編 材料及び構造強弱學 第四版 大正六

第二編 水力學及び水力機械 再版 大正六

機械設計の基礎 前編 杉村伊兵衛著 大正六

艦船補助機械陸上試験要領 海軍機關學會編 大正八

海軍公報第二千八百七十七號附録

洋書ノ部

CLASS I.

Daniels, Josephus. The navy and the nation. War-time addresses. N. Y. 1919. 4665

Card, S. F. Air navigation, notes and examples. London 1919. 4678

Roberts, Cecil. Training the airmen. How they fly. London 1919. 4683

Follot, Charles. Capitaine. Traité d'aviation. L'école du vol. Paris 1919. 960

Marchis, L. Cours d'aéronautique. Paris 1910-12. 3 vol. 961

Orain, F. Construction des aéroplanes. Résistance des matériaux. Paris 1919. 959

CLASS II.

Follett, M. P. The new state. Group organization. The solution of popular government. London 1918. 4666

Newton, A. P. The sea commonwealth and other papers. London 1919. 4680

Lucas, Charles. The war and the empire. Some facts and deductions. Oxford 1919. 4682	French of Ypres, Viscount. 1914. With maps. London 1919. 4687
Spargo, John. Bolshevism. The enemy of political and industrial democracy. N. Y. 1919. 4663	Whitlock, Brand. Belgium under the German occupation. A personal narrative. London 1919. 2 vol. 4677
Colvin, I. D. The safety of the nation. London 1919. 4670	Hurt, Archibald. Italian sea-power and the great war. London 1918. 4688
Marshall, L. C. Readings in industrial society. A study in the structures and functioning of modern economic organization. Chicago 1919. 4672	CLASS IV.
Milnes, Alfred. The economic foundations of reconstruction. London 1919. 4675	Brown, A. J. The mastery of the Far East. N. Y. 1919. 4664
Higgs, Richard. The control of public finance and officials. Dover 1919. 4679	Kawakami, K. K. Japan on world politics. N. Y. 1919. 4676
Serov, Slavko. Economic phenomena before and after war. A statistical theory of modern wars. London 1919. 4684	Lapsley, Gailard. The American of today. Cambridge 1919. 4673
Cannan, Gilbert. The anatomy of society. London 1919. 4685	CLASS V.
Pearson, Arthur. Victory over blindness. How it was won by the men of St. Dunston's and how others may win it. London 1919. 4671	Sidgwick, Henry. National and international right and wrong. London 1918. 4681
CLASS III.	Walston, Charles. Truth. An essay in moral reconstruction. Cambridge 1919. 4674
	CLASS VI.
	Great Britain. Memoranda on medical diseases in the tropical and sub-tropical war areas. London 1919. 4668
	Mott, F. W. War neuroses and shell shock. London 1919. 4667

0759

0760

CLASS VIII.

Japan-American trade year book. San Francisco
1918. P 203

Wagner, J. B. Seasoning of wood. N. Y.
1917. 4669

Tead, Ordway. Instincts in industry. A study
of working-class psychology. London 1919. 4685

海軍公報第二千八百七號附錄

三

海軍公報

第二千八十八號

海軍大臣官房

大正八年九月四日(木)

○辭令

(各通)

海軍大佐 末次 信正

海軍少佐 福井 愛助

海軍少佐 河村 儀一郎

海軍機關中佐 城戸 忠彦

海軍機關中佐 吉岡 保貞

恩賜研學資金受賞者銓衡委員ヲ命ス

特修兵ニ關スル調査委員ヲ命ス

恩賜研學資金受賞者銓衡委員ヲ命ス

海軍省構内防火裝置調査委員ヲ命ス(以上訪海軍省)

○艦船所在

▲印(ハホホ)ノ指定ヲ要セス

○九月四日午前十時調

【横須賀】 朝日、生駒、春日▲、八雲▲、津輕、富士、

橋立、天龍▲、滿州、日夕立▲、夕暮▲、三日月▲、白露▲、

日吹雪、有明、陽炎、龍、樺、不知火、薄雲、

浦風、日潜一▲、日潜二▲、日潜三▲、日潜四▲、日潜五▲、

高崎、青島▲、勝力▲、野島、潜〇一、

大 凌、日追風、彌生、夕風、疾風、膠州

【吳】 口山城、伊勢、日向、扶桑、日振津、薩摩、

鹿島、若宮、日榛名、比叡、霧島、金剛、日常磐▲、淺間、

矢矧▲、千歲▲、明石、周防、千代田▲、石見、駒橋、

龍田、日海風、山風、檜、日樺、桑、椿、櫻、日平戸、

筑摩、日瀨風、磯風、天津風、日谷風、江風、日初雪、

初春、春風、時雨、日阿蘇、韓崎、日潜一六、潜一八、

潜一九、潜一五、潜一七、日潜一七、潜一〇、潜一二、

潜一九、日潜三、潜四、潜五、潜六、潜七、潜一四、

日水六八、水六七、水七〇、水七一、野間、辨天丸、

潜〇二、潜〇四、潜〇六

【神戶】 梨、竹

【佐世保】 肥前、出雲▲、敷島、球磨、沖島、日桂▲、

根▲、梅▲、楠▲、日杉▲、松▲、榎▲、柏▲、日櫻▲、日桃▲、

柳▲、日燕、雁、蒼鷹、鶴

【長崎】 澤風▲

【種子島】 志自岐

【舞鶴】 香取▲、安藝、日進▲、吾妻▲、新高▲、見島、

日浦波、磯波、綾波、日朝風、若葉、潮、子日、峯風▲、

時津風▲、三油丸

【船川】 潜〇三、潜〇五、潜〇七

日伊吹▲、鞍馬▲

海軍公報第二千八十八號 大正八年九月四日

七二七

0761

大出

鎮海	辰朝潮、白雲、村雨、朝霧
旅順	口水無月、長月、菊月、卯月
青島	巨鷲、鶴、鷓、雲雀
馬公	秋津洲、巨橋、櫻、椿、桐、勞山
南洋群島	最上、松江、花咲丸
加新士里斯灣	対馬
浦鹽斯德	対馬
上海	白野分
鎮江	白野分
南京	松風
九江	松風
漢口	須磨、淀、宇治
長沙	伏見
重慶	鳥羽
香港	嵯峨
新嘉坡	磐手

○千早(一日)「ニコライフスク」發「オホツク」方面(關東(一日)横須賀發西戶崎(一)水七四(二日)「ニコライフスク」發加新士里斯灣(一)劍崎(三日)吳發佐世保(一)華丙(三日)横須賀發)
○雜款
○運送船勞山第六回行動豫定變更(八月三十一日)
馬公 九月三日 發
打狗 九月八日 發
蘇澳 九月十四日 發
佐世保 九月二十二日 發
吳阪 九月二十七日 發
大須賀 十月九日 發
横須賀 十月十四日 發
吳世保 十月十四日 發
吳山 九月五日 發
青島 九月十四日 發
德山 九月二十三日 發
○特設運送船辨天丸第四回行動豫定

0762

○郵便物發送先
第三水雷戰隊司令部、千早、對馬、第七驅逐隊（如月、神風、初霜、響）宛
九月十五日迄到達見込ノモノハ、小樽郵便局留置
其ノ後ハ、佐世保郵便局留置
第十一艇隊（水七二、七三、七四、七五）宛
九月十八日迄到達見込ノモノハ、小樽郵便局留置
其ノ後ハ、新舞鶴郵便局
特設運送船辨天丸宛
九月四日以後
山口縣 徳山

○自大正七年八月十一日艦船從軍年始終期
再開 八年五月三十一日
右今般印刷出來候ニ付須要ノ向ヘ及配付候尙爾後ノ分
ハ機宜取纏メ可及通知候條御承知相成度
（海軍省軍務局）

○改姓
海軍中主計福田貞助ハ岩手縣平民中村家ヘ入籍ノ旨八月二十二日届出タリ

○虎列刺
九月二日旅順要港部軍醫長發電
一日當地乃木町ニ日本人一名虎列刺發生ニ日眞性ト決定市内發生累計五
九月三日鎮海要港部軍醫長發電

海軍公報第三千八百八號 大正八年九月四日

二日釜山ニ眞性虎列刺一發生
同日臨時青島防備隊軍醫長發電
前電准士官ノ子供陰性ト決定二日迄ノ累計眞性日本人五十、支那人三十九、疑似ノ死亡四十三、本隊及艦隊共ニ健全ナリ
九月四日内務省衛生局報告

發生月日	府縣	發生ノ場所	眞	疑	保菌	疑似ノ眞
九月二日	大分	宇佐郡封戸村	一	一		一
	福岡	企救郡				一
	同	田川郡		一		
	同	門司市、田川郡		二		
	沖繩	八重山郡石垣村				一
累計			七	三	二	一

○海港檢疫ノ分前日ニ同シ

（部内限二頁） 七二九

0763

海軍公報

第二千八十九號

大正八年九月五日(金)
海軍大臣官房

○辭令

海軍技師 福井 勇藏
第六部勤務ヲ命ス(請海軍技術本部)

海軍技手 白石 顯二
第一部勤務ヲ命ス(請海軍技術本部)

○艦船所在

▲印▲ハ▲キ▲フ
指定ヲ要セス

○九月五日午前十時調

【廣須賀】 朝日、生駒、春日▲八雲▲津輕、富士、
橋立、天龍▲滿州、日夕立▲夕暮▲三日月▲白鷺▲
吹雪、有明、陽炎、臘、曙、樺、樞、不知火、薄雲、
浦風、日潜一▲日潜二▲日潜三▲日雄、鵬、鴻、白鷹、
高崎、青島▲勝利▲野島、潜○一
【大湊】 日追風、彌生、夕風、疾風、膠州
【吳】 日山城、伊勢、日向、扶桑、日振津、陸奥、
鹿島、若宮、日榛名、比叡、霧島、金剛、日常磐▲淺間、
矢矧▲千歳▲明石、周防、千代田▲石見、駒橋、
龍田、日海風、山嵐、樺、櫻、日神、桑、日平月、

筑摩、日復風、磯城、天津風、日谷風、江風、日初雪、
初春、春風、時雨、日阿蘇、韓崎、日潜一六、日潜八、
日潜九、日潜一五、日潜一七、日潜二一、日潜二〇、日潜二二、
日潜一九、日潜三、日潜四、日潜五、日潜六、日潜七、日潜一四、
日水六八、水六七、水七〇、水七一、野間、辨天丸、
潜○二、潜○四、潜○六
【神戶】 梨、竹
【廣島灣】 椿、櫻
【佐世保】 肥前、出雲▲敷島、球磨、沖島、日桂▲
楓▲梅▲楠▲杉▲松▲柳▲柏▲日樞▲榎▲桃▲
柳▲日燕、雁、蒼鷹、鶴、劍埼
【長崎】 澤風▲
【種子島】 志自岐
【舞鶴】 香取▲安藝、日進▲吾妻▲新高▲見島、
日浦波、磯波、綾波、日朝風、若葉、潮、子日、巖風▲、
時津風▲三池丸
【新潟】 日潜三、日潜五、日潜七
【境】 日伊吹▲鞍馬▲
【鎮西】 日朝潮、白雲、村雨、朝霧
【旅順】 日水無月、長月、菊月、卯月
【青島】 日鷲、鷗、鶴、雲雀

海軍公報第二千八十九號 大正八年九月五日

七三一

0764

【馬】公 秋津洲、巨橋、櫻、桐、旁山
 【南洋群島】最上、松江、花咲丸
 【オコツク】千早 対馬、水七四
 【加新土里斯河】三笠
 【スライフスル】野分
 【上】海 白雪
 【鎮】江 松風
 【南】京 松風
 【九】江 松風
 【漢】口 須磨、淀、宇治
 【長】沙 伏見
 【重】慶 鳥羽
 【香】港 蟻巖
 【新嘉坡】卜馨手
 【統海中】
 響、神風(八月二十四日、「ニコライフスク」發北樺太 東岸へ)
 室戸(八月二十六日舞鶴發「ホンガイ」へ)
 利根(八月二十六日新嘉坡發「タワオ」へ)
 洲崎丸(八月二十七日佐世保發)
 隅田(八月三十一日城陵磯發漢口へ)
 關東(一日横須賀發西戶崎へ)
 華丙(三日横須賀發)

○雜款

○郵便物發送先
 軍艦安藝宛
 九月十二日迄到着見込ノモノハ 鳥取縣 境
 其ノ後ハ 舞鶴

軍艦滿州宛
 九月十日迄到着見込ノモノハ 宮 伯島
 同 十六日迄 同 神 戶
 同 十九日迄 同 横 須 賀
 其ノ後ハ

○外國出張時間變更
 英國へ出張ヲ命セラレタル海軍造船少監佐々初喜ハ來ル七日午後七時東京驛發ノ處同日午後五時二十分發ニ變更

○虎列刺
 九月四日內務省衛生局報告

發生月日	府縣	發生ノ場所	新 患 者
九月三日	福岡	田川郡、門司市	眞一疑一保菌(疑似ノ眞)
同	田川郡		二

0765

海軍公報第二千八百九十九號 大正八年九月五日

○海港檢疫ノ分前日ニ同シ

累計	日計	同三日	九月一日	八月廿二日				
		同 大濱村	同	沖繩 八重山郡石垣村	同 田川郡	同 遠賀郡	同 小倉市	同 企救郡
七 八 一 四	六 三 一 二	五	五	一	二	一	一	三

(部内限二頁、別表二葉) 七三三

0766

海軍公報

第二千九十號

海軍大臣官房

大正八年九月六日(土)

○令 達

官房第三一一一號

購買名簿中左ノ通改正ス

大正八年九月六日

海軍大臣 加藤友三郎

指名競争ノ部

四十七ノ項 品名ノ欄「周波計、電力計」ヲ除キ 四十八ノ項 品名ノ欄括弧ノ次ニ「周波計、電力計」ヲ加フ
 十五ノ項 品名ノ欄ニ「(又鍍、肉截刀鍍ヲ除ク)」ヲ加フ

番 號	被 指 名 者 氏 名	被 指 名 者 所 在 市 町 村 名
一ノ一	宇野耐火煉瓦株式會社	岡山縣兒島郡宇野町
六	九州電線製造株式會社	福岡縣金救郡大里町
十四	日本金屬株式會社	神戸市東川崎町一丁目
十五	細井鐵工場	東京府豊多摩郡代々幡町字幡ヶ谷

海軍公報第二千九十號 大正八年九月六日

七三五

0767

六十三	東海電機製作所	東京市麻布區富士見町
	沖電氣株式會社	東京市芝區田町
六十一	湊商會	東京市芝區神明町
	神戶ボイル油株式會社	神戸市兵庫池田村
六十	東洋塗料製造株式會社	神戸市尻池菅原通二丁目
	三菱鑛業株式會社	東京市麴町區八重洲町
五十七	合資會社明治護謨製造所	東京府荏原郡品川町
	東海電機製作所	東京市麻布區富士見町
四十八	東海電機製作所	東京市麻布區富士見町
	東海電機製作所	東京市麻布區富士見町
四十七	東海電機製作所	東京市麻布區富士見町
	東海電機製作所	東京市麻布區富士見町
三十九	東海電機製作所	東京市麻布區富士見町
	東海電機製作所	東京市麻布區富士見町
三十三	帝國塗料株式會社	東京市深川區木場町
	高安合資會社	岐阜縣安八郡墨俣町
二十八	三菱鑛業株式會社	東京市麴町區八重洲町
	株式會社電氣製鋼所	東京市麴町區永樂町一丁目
二十五	株式會社電氣製鋼所	東京市麴町區永樂町一丁目
	株式會社電氣製鋼所	東京市麴町區永樂町一丁目
二十四	株式會社電氣製鋼所	東京市麴町區永樂町一丁目
	株式會社電氣製鋼所	東京市麴町區永樂町一丁目

0768

番 號	品 名	被 指 名 者 氏 名	被 指 名 者 所 在 市 町 村 名
三十九ノ一	高聲電話器、交換器	沖電氣株式會社 東海電機製作所	東京市芝區田町 東京市麻布區富士見町
四十三ノ一	洋食器類(經營需品) (陶磁器類ヲ除ク)	株式會社明治屋 合名會社十一屋商店	橫濱市本町一丁目 東京市京橋區尾張町新地
六十 四	十 能 (經營需品)	淺香鐵器製作所 東京鐵具製作所	堺市綾之町西一丁目 東京市本所區橫川町
六 十 五	金屬タンクステン	東北電化株式會社 藤田鑛業株式會社	東京市麴町區內幸町一丁目 大阪市北區堂島北町
六十五ノ一	フエロタンクステン	藤田鑛業株式會社 株式會社電氣製鋼所 掛斐川電化株式會社	大阪市北區堂島北町 東京市麴町區永樂町一丁目 東京市京橋區新富町二丁目
六十五ノ二	フェロシリコン	東北電化株式會社 藤田鑛業株式會社 株式會社電氣製鋼所 高田鑛業株式會社 棚倉電氣株式會社	東京市麴町區內幸町一丁目 大阪市北區堂島北町 東京市麴町區永樂町一丁目 東京市麴町區永樂町二丁目 福島縣東白川郡棚倉町

海軍公報第三千九十九號 大正八年九月六日

七三七

0769

<p>六十五ノ三</p>	<p>フェロクロム</p>	<p>藤田鑛業株式會社 株式會社電氣製鋼所 揖斐川電化株式會社 東北電化株式會社</p> <p>大阪市北區堂島北町 東京市麴町區永樂町一丁目 東京市京橋區新富町二丁目 東京市麴町區內幸町一丁目</p>
<p>六十五ノ四</p>	<p>フェロマンガ</p>	<p>東北電化株式會社 藤田鑛業株式會社 高田鑛業株式會社 株式會社電氣製鋼所 揖斐川電化株式會社 棚倉電氣株式會社 田中鑛山株式會社</p> <p>東京市麴町區內幸町一丁目 大阪市北區堂島北町 東京市麴町區永樂町二丁目 東京市京橋區新富町二丁目 福島縣東白川郡棚倉町 東京市京橋區北紺屋町</p>
<p>六十五ノ五</p>	<p>スピリゲル</p>	<p>東北電化株式會社 藤田鑛業株式會社 高田鑛業株式會社 株式會社電氣製鋼所 田中鑛山株式會社</p> <p>東京市麴町區內幸町一丁目 大阪市北區堂島北町 東京市麴町區永樂町二丁目 東京市麴町區永樂町一丁目 東京市京橋區北紺屋町</p>
<p>六十五ノ六</p>	<p>シリコスピリゲル</p>	<p>東北電化株式會社 藤田鑛業株式會社 高田鑛業株式會社</p> <p>東京市麴町區內幸町一丁目 大阪市北區堂島北町 東京市麴町區永樂町二丁目</p>

0770

ヲ追加ス

二、及三、ノ項 被指名者氏名ノ欄「合名會社藤田組」ヲ「藤田鑛業株式會社」ニ同所在市町村名「大阪市」ヲ
 「大阪市北區堂島北町」ニ改ム
 八、ノ項 被指名者氏名欄ノ「合資會社高田商會」ヲ「高田鑛業株式會社」ニ同所在市町村名「東京市」ヲ
 「東京市麴町區永樂町二丁目」ニ改ム 坪井鑛業所ノ「(電氣鉛ノミ)」ヲ削ル
 二十七、ノ項 被指名者氏名ノ欄「龜戶コークス製造所」ヲ「龜戶コークス合名會社」ニ改ム
 三十一、ノ三、ノ項 株式會社川北電氣企業者ノ所在市町村名「大阪市北區堂島濱通一丁目」ヲ「東京市京橋
 區新着町」ニ改ム
 三十九、ノ項 品名ヲ「有線電信、普通電話器、交換器」ニ改ム
 四十、ノ項 日本理化工業株式會社ノ所在市町村名「東京市京橋區三十間堀」ヲ「東京府荏原郡大井町字權
 現臺」ニ改ム
 四十九、ノ項 被指名者氏名ノ欄「桑野電機製作所」ヲ「株式會社桑野電機製作所」ニ改ム

○通牒

官房第三一一二號 大正八年九月六日
 軍艦肥前下内地郵便局間ニ郵便物閉塞交換開始相成候
 條本邦ヨリ發送ノ郵便物ハ左記ノ通御取計相成度

海軍省副官 小林 麟造

記

一、信書肩書ハ「敦賀郵便局氣付」トスルコト
 一、宛名左側ニ「軍艦郵便」ト朱書スルコト

○辭令

一、料金ハ内地ノ料金ニ依リ本邦ノ切手ヲ貼用スルコト
 歸朝ヲ命ス(請海軍省)
 海軍技師 西本 音吉
 第四部勤務ヲ命ス(請海軍技術部本部)
 海軍技師 小林 嘉四郎

海軍公報第三千九十九號 大正八年九月六日

七三九

0771

○艦船所在

△印 △ハ △ホ △セ
指定ヲ要セス

○九月六日午前十時調

【横須賀】 朝日、生駒、春日、八雲、津輕、富士、橋立、天龍、夕立、夕暮、三日月、白露、

吹雪、有明、陽炎、隼、樺、榎、不知火、薄雲、

浦風、潜一、潜二、潜三、潜四、潜五、潜六、潜七、潜八、潜九、潜一〇、潜一一、潜一二、

潜一三、潜一四、潜一五、潜一六、潜一七、潜一八、潜一九、潜二〇、潜二一、潜二二、潜二三、

潜二四、潜二五、潜二六、潜二七、潜二八、潜二九、潜三〇、潜三一、潜三二、潜三三、潜三四、潜三五、

潜三六、潜三七、潜三八、潜三九、潜四〇、潜四一、潜四二、潜四三、潜四四、潜四五、潜四六、潜四七、

潜四八、潜四九、潜五〇、潜五一、潜五二、潜五三、潜五四、潜五五、潜五六、潜五七、潜五八、潜五九、

潜六〇、潜六一、潜六二、潜六三、潜六四、潜六五、潜六六、潜六七、潜六八、潜六九、潜七〇、潜七一、

潜七二、潜七三、潜七四、潜七五、潜七六、潜七七、潜七八、潜七九、潜八〇、潜八一、潜八二、潜八三、

潜八四、潜八五、潜八六、潜八七、潜八八、潜八九、潜九〇、潜九一、潜九二、潜九三、潜九四、潜九五、

潜九六、潜九七、潜九八、潜九九、潜一〇〇、潜一〇一、潜一〇二、潜一〇三、潜一〇四、潜一〇五、潜一〇六、

潜一〇七、潜一〇八、潜一〇九、潜一一〇、潜一一一、潜一一二、潜一一三、潜一一四、潜一一五、潜一一六、

潜一一七、潜一一八、潜一一九、潜一二〇、潜一二一、潜一二二、潜一二三、潜一二四、潜一二五、潜一二六、

潜一二七、潜一二八、潜一二九、潜一三〇、潜一三一、潜一三二、潜一三三、潜一三四、潜一三五、潜一三六、

潜一三七、潜一三八、潜一三九、潜一四〇、潜一四一、潜一四二、潜一四三、潜一四四、潜一四五、潜一四六、

潜一四七、潜一四八、潜一四九、潜一五〇、潜一五一、潜一五二、潜一五三、潜一五四、潜一五五、潜一五六、

潜一五七、潜一五八、潜一五九、潜一六〇、潜一六一、潜一六二、潜一六三、潜一六四、潜一六五、潜一六六、

潜一六七、潜一六八、潜一六九、潜一七〇、潜一七一、潜一七二、潜一七三、潜一七四、潜一七五、潜一七六、

潜一七七、潜一七八、潜一七九、潜一八〇、潜一八一、潜一八二、潜一八三、潜一八四、潜一八五、潜一八六、

【西片崎】 關東、澤風、

【種子島】 志自岐、

【舞鶴】 香取、安藝、日進、吾妻、新高、見島、

浦波、磯波、綾波、朝風、若葉、潮、子日、峯風、

時津風、三油丸、

【新瀨】 潜〇三、潜〇五、潜〇七、

境、潜〇三、潜〇五、潜〇七、

【鎮海】 口伊吹、鞍馬、

【旅順】 口村雨、白雲、朝潮、朝霧、

【青島】 口水無月、長月、菊月、卯月、

【馬公】 秋津洲、口橋、櫻、桐、勞山、

【南洋群島】 最上、松江、花咲丸、

【オコック】 口如月、初霜、口水七三、水七二、水七五、

【加刺士里新瀨】 口千早、

【スワイネスト】 對馬、水七四、

【上海】 口野分、

【鎮江】 口白雲、

【南京】 口松風、

【九江】 口松風、

【漢口】 口須磨、淀、宇治、

【長沙】 口伏見、

【重慶】 鳥羽、

0772

【香 港】 變機
 【新嘉坡】 ▷ 替手

【航海中】

響、神風(八月二十四日)「ニヨライフスク」發北樺太
 東岸へ)
 室戸(八月二十六日舞鶴發「ホンガイ」へ)
 利根(八月二十六日新嘉坡發「タワオ」へ)
 洲崎丸(八月二十七日佐世保發)
 隅田(八月三十一日城陵磯發漢口へ)
 華丙(三日横須賀發)
 滿州(六日横須賀發)

○ 雜 款

○司令驅逐艦變更
 第二十七驅逐隊司令ハ八月三十一日司令驅逐艦ヲ朝潮
 ヲリ村雨ニ變更セリ

○郵便物發送先
 第二艦隊司令部、機名、比叻、霧島、金剛宛
 九月 八日迄到達見込ノモノハ 吳軍港
 同 十一日迄同 山口縣徳山
 同 十九日迄同 大分縣佐伯
 同 二十二日迄同 別府

其ノ後ハ 吳軍港

軍艦富士宛
 九月 十日迄到達見込ノモノハ 朝鮮 鎮海
 同 十六日迄同 佐世保軍港
 同 二十二日迄同 吳軍港
 其ノ後ハ 横須賀留置

海軍書記中山敬二ハ去月二十四日死去セリ

○ 虎 刺 刺
 九月五日内務省衛生局報告

發生日	府縣	發生ノ場所	新 患 者
九月四日	千葉	君津郡檜葉村	眞 疑 保 菌 疑似ノ眞 菌ト決定
	福岡	田川郡	四 二 二
	同	門司市	二
	同	遠賀郡	一
	同	鞍手郡	二

海軍公報第二千九十九號 大正八年九月六日

七四

0773

累計	九月四日	福岡	天長丸三等船客	○海港檢疫ニ依ル患者發見ノ分			
				九	一	九	一
日計	大分	宇佐郡封戸村	同	小倉市	一〇	三	一
					三	一	三
累計					三	四	一

入部内限一頁

0774

海軍公報

第二千九十一號

海軍大臣官房

大正八年九月八日(月)

○通牒

官房第二一九號ノ五

大正八年九月八日

海軍次官 柄内曾次郎

横須賀、吳鎮守府 司令長官 殿

外國船ヨツハンナ號不開港場寄港出願ニ付別紙ノ趣旨ニ依リ許可方遞信大臣ノ照會ニ應シタル末令般該免狀交付セラレタリ

(別紙)

第六五四號

不開港場寄港免狀

- 一 船名 ヨツハンナ號
- 一 國籍 米國
- 一 種類 帆船
- 一 船主氏名及國籍 米國人 セー、ビー、ヘイム
- 一 船長氏名及國籍 同上
- 一 噸數 壹噸
- 一 橋ノ數 壹本
- 一 網具ノ裝置 スルト

海軍公報第二千九十一號 大正八年九月八日

一同航ノ目的 娛樂

一航 路 東京灣ヨリ安房伊豆相模ノ各沿岸及大島ヲ經テ志摩紀伊ノ各沿岸ニ至ル

一寄港 地名 別紙ノ通

右不開港場へ寄港ヲ許可ス

本免狀有効期間ハ大正八年九月七日ヨリ同年十一月六日迄トス

但必要ノ節ハ同期間内ト雖其寄港ヲ差止ムルコトアルヘシ

大正八年九月五日

遞信大臣

(同裏面)

米國人セー、ビー、ヘイム所有船ヨツハンナ號 航行心得

一、本船ハ帝國法令條約ヲ遵守スルハ勿論表面記載ノ各港ニ於テ警察規則及各種港則ヲ遵守スヘシ

二、本免狀ハ何時タリトモ日本官吏ノ求めニ應シ其ノ検査ヲ受クヘシ

三、本船ハ本免狀記載ノ目的外ニ使用スヘカラス殊ニ表面記載ノ各港間ニ於テ貨物旅客ノ運搬ヲ爲スヘ

七四三

0775

カラス

- 四、前記ノ内何レノ箇條タリトモ之ニ違背スルトキハ直ニ此ノ免許ヲ取消スヘシ
- 五、此免狀ノ期間満了ノトキ又ハ免許ヲ取消サレタルトキハ直ニ此ノ免狀ヲ返納スヘシ
- 六、出帆前地方廳ノ檢閲ヲ受クヘシ又陸海軍ニ於テ必要ト認ムルトキハ隨時檢閲スルコトアルヘシ

寄港地名

- 東京府 品川、大島
 - 神奈川縣 川崎、鶴見、杉田、富岡、小柴、金澤、金田海、松輪、三崎、油壺、小網代、逗子、鎌倉、真鶴
 - 千葉縣 館山、白濱
 - 静岡縣 熱海、網代、伊東、稻取、下田、江ノ浦、三津、戸田、安良里、土肥、田子、松崎、妻良、子浦、長津呂
 - 愛知縣 蒲郡、半田
 - 三重縣 津、尾鷲、鳥羽、的矢
 - 和歌山縣 湯淺、勝浦、大島、田邊
- 但シ軍港要港規則及要塞地帯法ニ依リ禁止又ハ制限セラレタル區域ヲ除ク

○辭令

○大正八年九月六日 任海軍書記

萬力 毅

給十級俸 任海軍技手 佐藤 勝

給八級俸 任海軍技官補 井原 柳三

給七級俸 依願免本官 海軍屬 永島 昌保

海軍技術本部附ヲ命ス 海軍屬 永島 昌保

海軍造兵廠勤務ヲ命ス 海軍書記 萬力 毅

海軍技官補 佐藤 勝

海軍技官補 井原 柳三

臨時南洋群島防備隊附ヲ命ス(以上諸海軍省)

海軍一等筆記 小野寺 平造

海軍省人事局恩給事務囑託ヲ解ク(前海軍省人事局)

○艦船所在

▲印(ハホホ)ノ指定ヲ要セス

○九月八日午前十時調

【横須賀】 朝日、春日、八雲、津輕、橋立、天龍、夕立、夕暮、三日月、白露、吹雪、有明、陽炎、隴、隴、縦、樞、不知火、薄雲、浦風、潜一、潜二、潜一三、雄、鷗、鴻、白鷹、高崎、青島、勝力、野島、潜〇一

【大 湊】 追風、彌生、夕風、疾風、膠州

0776

<p>【鎮】 海 口伊吹、鞍馬、口村雨、白雲、朝潮、朝霧</p>	<p>【美保灣】 安藝</p>	<p>【舞鶴】 香取、日進、吾妻、新高、見島、浦波、磯波、綾波、朝風、若葉、潮、子日、峯風、時津風、三池丸</p>	<p>【種子島】 志自岐</p>	<p>【長崎】 澤風</p>	<p>【西戸崎】 關東</p>	<p>【柳】 口燕、雁、蒼鷹、鶴</p>	<p>【大分】 肥前、出雲、敷島、球磨、沖島、桂、梅、楠、杉、松、柏、檜、檜、桃、柳、燕、雁、蒼鷹、鶴</p>	<p>【神戶】 生駒、梨、竹</p>	<p>【徳山】 辨天丸</p>	<p>【藤生】 筑摩</p>	<p>【水六八】 水六七、水七〇、水七一、野間、劍崎、港〇四</p>	<p>【潜九】 潜一五、潜一七、潜一八、潜一〇、潜一二、潜一四、潜一六、潜一七、潜一八、潜一九、潜二〇、潜二一、潜二二、潜二三、潜二四、潜二五、潜二六、潜二七、潜二八、潜二九、潜三〇、潜三一、潜三二、潜三三、潜三四、潜三五、潜三六、潜三七、潜三八、潜三九、潜四〇、潜四一、潜四二、潜四三、潜四四、潜四五、潜四六、潜四七、潜四八、潜四九、潜五〇、潜五一、潜五二、潜五三、潜五四、潜五五、潜五六、潜五七、潜五八、潜五九、潜六〇、潜六一、潜六二、潜六三、潜六四、潜六五、潜六六、潜六七、潜六八、潜六九、潜七〇、潜七一、潜七二、潜七三、潜七四、潜七五、潜七六、潜七七、潜七八、潜七九、潜八〇、潜八一、潜八二、潜八三、潜八四、潜八五、潜八六、潜八七、潜八八、潜八九、潜九〇、潜九一、潜九二、潜九三、潜九四、潜九五、潜九六、潜九七、潜九八、潜九九、潜一〇〇</p>	<p>【吳】 口山城、伊勢、日向、扶桑、攝津、薩摩、鹿島、若宮、口榛名、比叡霧島、金剛、常磐、淺間、矢矧、千歲、明石、周防、千代田、石見、駒橋、龍田、海風、山風、檜、樺、桑、椿、榎、平戸、濱風、磯風、天津風、口谷風、江風、口初雪、初春、春風、時雨、口阿蘇、韓崎、口一六、潜一八、潜一九、潜二〇、潜二一、潜二二、潜二三、潜二四、潜二五、潜二六、潜二七、潜二八、潜二九、潜三〇、潜三一、潜三二、潜三三、潜三四、潜三五、潜三六、潜三七、潜三八、潜三九、潜四〇、潜四一、潜四二、潜四三、潜四四、潜四五、潜四六、潜四七、潜四八、潜四九、潜五〇、潜五一、潜五二、潜五三、潜五四、潜五五、潜五六、潜五七、潜五八、潜五九、潜六〇、潜六一、潜六二、潜六三、潜六四、潜六五、潜六六、潜六七、潜六八、潜六九、潜七〇、潜七一、潜七二、潜七三、潜七四、潜七五、潜七六、潜七七、潜七八、潜七九、潜八〇、潜八一、潜八二、潜八三、潜八四、潜八五、潜八六、潜八七、潜八八、潜八九、潜九〇、潜九一、潜九二、潜九三、潜九四、潜九五、潜九六、潜九七、潜九八、潜九九、潜一〇〇</p>
----------------------------------	-----------------	---	------------------	----------------	-----------------	----------------------	---	--------------------	-----------------	----------------	------------------------------------	--	---

海軍公報第二千九十一號 大正八年九月八日

<p>【航海中】 室戸(八月二十六日舞鶴發「ホンガイ」へ) 洲崎丸(八月二十七日佐世保發) 千早(四日「オロック」發「タウスク」へ) 浦州(六日横須賀發)</p>	<p>【旅順】 口水無月、長月、菊月、卯月</p>	<p>【青島】 口鷺、鶴、鶉、雲雀</p>	<p>【馬公】 口橋、櫻、樟、桐</p>	<p>【打狗】 勞山</p>	<p>【南洋群島】 最上、松江、花咲丸</p>	<p>【加那利群島】 口如月、初霜、口水七三、水七二、水七五、對馬、水七四</p>	<p>【ボセツト】 口三笠</p>	<p>【上海】 口野分</p>	<p>【鎮江】 口白雲</p>	<p>【南京】 口松風</p>	<p>【九江】 口松風</p>	<p>【漢口】 口須磨、淀、宇治、隅田</p>	<p>【長沙】 口伏見</p>	<p>【重慶】 口鳥羽</p>	<p>【廈門】 口秋津洲</p>	<p>【香港】 口嵯峨</p>	<p>【新嘉坡】 口磐手</p>	<p>【タワオ】 口利根</p>
---	---------------------------	-----------------------	----------------------	----------------	-------------------------	---	-------------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-------------------------	-----------------	-----------------	------------------	-----------------	------------------	------------------

0777

七四五

華丙(六日門司發)
 富士(六日横須賀發)
 潜〇三、潜〇五、潜〇七(七日新瀉發七尾へ)
 響、神風(七日加斯土里斯灣發「ニコライフスク」へ)

○雜款

○郵便物發送先

聯合艦隊司令部、第一艦隊司令部、山城、扶桑、日向、伊勢、第二戰隊司令部、攝津、薩摩、鹿島、第一水雷戰隊司令部、龍田、第四驅逐隊(櫻、椿、桑、楨)、第三十二驅逐隊(海風、山風、檀、榎)、第一潛水戰隊司令部、阿蘇、韓崎、第十三潛水隊(第八、九、十五、十六、十七潛水艦)、艦隊航空隊、若宮宛

九月十一日迄到達見込ノモノハ

山口縣徳山

同 十九日迄同

大分縣佐伯

同 二十二日迄同

大分縣別府

其ノ後ハ

吳軍港

但シ山城宛ノモノニ限リ九月二十日以後

到達見込ノモノハ 吳軍港

(附記)佐伯灣在泊中ハ陸上ニ無線電信所假設ニ付前

記各部宛電報ニハ「ハホ」ノ指定ヲ要セス

第二水雷戰隊司令部、平月、筑摩、第一驅逐隊(濱風、磯風、天津風)、第三驅逐隊(谷風、江風)宛

運送船野島宛

九月十三日迄到著見込ノモノハ
 其ノ後ハ

吳軍港
 徳山

○虎列刺

九月六日內務省衛生局報告

發生月日	府縣	發生ノ場所	新患者
九月五日	千葉	君津郡檜葉村	真 一
	福岡	田川郡、遠賀郡	疑 六
	同	田川郡	保菌 二
	同	門司市	疑似ノ患 一
	同	小倉市	一
	同	遠賀郡	一
	山口	厚狹郡厚南村	一

0778

九月三日	沖繩	八重山郡大濱村
同 二日 同	同 石垣村	
日計	九	二
累計	一五	二四

○海港檢疫ノ分前日ニ同シ

海軍公報第二千九十一號

大正八年九月八日

(部内限一頁)

七四七

0779

海軍公報

第二千九十二號

海軍大臣官房

大正八年九月九日(火)

○通牒

官房第一九五七號ノ三

大正八年九月九日

海軍省副官 小林 隣造

上陸規則中改正ノ件

本件ニ關シ左記ノ通第一艦隊司令長官ノ上申ニ對シ認
許セラレタリ

記

第一艦隊第二六八號

大正八年八月十八日於佐世保山城

第一艦隊司令長官 山下 源太郎

海軍大臣加藤友三郎殿

上陸規則中改正ノ件

第一艦隊法令別冊軍艦例規改正ノ結果當隊上陸規則中
左ノ通改正致度候條御認許相成度

右ノ上申ス

左 案

(一)第一艦隊上陸規則第四條第一號ヲ左ノ通改ム

一、日曜日、祝日、祭日、記念日、其他ノ公暇日

海軍公報第二千九十二號 大正八年九月九日

ニ於テハ午前日課手入後(式後)ヨリ土曜日ニ
於テハ午食後ヨリ翌日午前就業時迄

(二)同第八條ヲ左ノ通改ム

半舷上陸ハ日、土曜日、祝日、祭日、記念日其他ノ公
暇日ニ於テ之ヲ許シ夏季ハ午前八時四十五分ヨリ
午後七時三十分迄冬季ハ午前九時十五分ヨリ午後
七時迄(土曜日ニ於テハ午食後ヨリ前記ノ時刻迄)
三等行狀以上ノ者半、數ニ之ヲ許スコトヲ得但シ第
六條ニ該當スル者ニハ引續キ入湯上陸ヲ許スコト
ヲ得

○訓令

○大正八年九月九日海軍大臣ヨリ海軍中主計今西義美

へ訓令

志自岐主計長心得海軍中主計森俊一ノ責任ニ係ル
計算書未提出ノ分調製提出スヘシ

○辭令

○大正八年九月八日

任海軍屬

佐藤 勇八

七四九

0780

給月俸貳拾貳圓

海軍省艦收局附ヲ命ス 海軍主計總監 深水 貞吉

海軍省艦收局附ヲ命ス

(各通) 海軍書記 千賀 重太郎

西比利亞へ出張ヲ命ス(以上皆海軍省)

(各通) 海軍機關大佐 重村 義一

(各通) 海軍藥劑中監 小出 脩

第六課勤務ヲ命ス

海軍機關中佐 宮本 雄助

第四課勤務ヲ命ス(以上皆海軍省艦政局)

○艦船所在

▲印(ニハホ) ▲指定ヲ要セス

○九月九日午前十時調

【横須賀】 朝日、春日、八雲、橋立、天龍、

夕立、夕暮、三日月、白鷺、吹雪、有明、陽炎、

龍、曙、樺、榎、不知火、薄雲、浦風、潜一、潜二、

潜三、潜四、潜五、潜六、潜七、潜八、潜九、潜十、野島、

潜〇一

【津輕】

【大湊】 追風、潮生、夕風、疾風、膠州、

【吳】 山城、伊勢、日向、扶桑、攝津、薩摩、

鹿島、若宮、口榛名、比叡、霧島、金剛、常磐、淺間、

矢矧、千歲、明石、周防、千代田、石見、駒橋、浦州、

龍田、海風、山風、榴、榎、桑、椿、楓、平戸、

濱風、磯風、天津風、谷風、江風、初雪、

初春、春風、時雨、潜九、潜一〇、潜一一、

潜一二、潜一三、潜一四、潜一五、潜一六、潜一七、潜一八、

潜一九、潜二〇、潜二一、潜二二、潜二三、潜二四、

潜二五、潜二六、潜二七、潜二八、潜二九、潜三〇、

潜三一、潜三二、潜三三、潜三四、潜三五、潜三六、

潜三七、潜三八、潜三九、潜四〇、潜四一、潜四二、

潜四三、潜四四、潜四五、潜四六、潜四七、潜四八、

潜四九、潜五〇、潜五一、潜五二、潜五三、潜五四、

潜五五、潜五六、潜五七、潜五八、潜五九、潜六〇、

潜六一、潜六二、潜六三、潜六四、潜六五、潜六六、

潜六七、潜六八、潜六九、潜七〇、潜七一、潜七二、

潜七三、潜七四、潜七五、潜七六、潜七七、潜七八、

潜七九、潜八〇、潜八一、潜八二、潜八三、潜八四、

潜八五、潜八六、潜八七、潜八八、潜八九、潜九〇、

潜九一、潜九二、潜九三、潜九四、潜九五、潜九六、

潜九七、潜九八、潜九九、潜一〇〇、

【種子島】 志自岐

【舞鶴】 香取、日進、吾妻、新高、見島、

【浦波】 磯波、綾波、朝風、若葉、潮、子日、峯風、

時津風、三油丸

【伏木】 潜〇五

【七尾】 潜〇三、潜〇七

【美保】 安藝

【境】 伊吹、鞍馬

【鎮海】 村雨、白雲、朝潮、朝霧

七五〇

0781

【旅】	順	口水無月、辰月、朔月、卯月
【青】	島	口水無月、辰月、朔月、卯月
【馬】	公	口水無月、辰月、朔月、卯月
【打】	狗	口水無月、辰月、朔月、卯月
【南洋群島】	最上、松江、花咲丸	
【水七四】	水七五	
【浦鹽斯德】	浦鹽斯德	
【上】	海	
【鎮】	江	
【南】	京	
【九】	江	
【漢】	口	
【長】	沙	
【重】	慶	
【厦】	門	
【香】	港	
【ホンガイ】	室戸	
【タツオ】	利根	
【航海中】		

富士(六日横須賀發)	○雜款
▷磐手(六日新嘉坡發「ラプアン」)	
▷千早(六日「タウスク」發「ラングルト」)	
▷生駒(八日神戸發徳山)	
▷阿蘇、韓崎、口水一六、潛八、潛一五、潛一七(九日吳發徳山)	
○郵便物肩書	
第五戰隊司令部宛ノ郵便物ハ自今三笠氣付トナス單ニ敦賀郵便局氣付トナスコト	
○正誤	
今般配付ノ旨同、八年五月三十一日艦船從軍年始終期中左ノ通正誤ス(海軍省軍務局)	
盤艇名頁數	位置
楠	三一上頭欄外
松	三一一同
桐	三二一同
初雪四五同	第ノ下「一」不明ノモツアリ
	「第二十二驅逐艇」ハ「第二十二驅逐隊」ノ誤
	「第二十三逐逐隊」ハ「第二十三驅逐隊」ノ誤
	「警備驅逐艇」ハ「警備驅逐隊」ノ誤

海軍公報第二千九十二號 大正八年九月九日

七五一

0782

夕	立四六同	「八、九、一六」ハ「七、九、一六」ノ誤	九月四日	同	同				
夕	立四六同	「七、二、一」ハ「八、二、一」ノ誤	日計			二六	二		
鶉	五七同	「八、四、二」ハ「八、四、二」ノ誤	累計			二二	九	二	
鶉	五八同	「八、四、一」ハ「八、四、一」ノ誤	○海港檢疫ニ依ル患者發見ノ分						
第八潛水艇	六五同	「第三艦隊」ハ「第二艦隊」ノ誤	九月五日	福岡	天長丸船客				三
三池丸	七四	「八、二、二六」ハ「八、二、二五」ノ誤	九月六日	同	香港丸船内郵便夫				
○虎列刺 九月九日内務省衛生局報告			九月七日	長崎	米國陸軍運送船水夫				
發生月日	府縣	發生ノ場所	同	同	同	同	同		
九月六日	福岡	田川郡二、遠賀郡一、小倉市一、田川郡二、企救郡一	同	同	同	同	同		
			累計						
九月七日	同	門司市(隔離中)							
	同	田川郡一、賀郡二、企救郡一、田川郡五							
	同	八重山郡石垣村							
九月三日	沖繩		○司令驅逐艦變更 第二十一驅逐隊司令ハ八月三十一日司令驅逐艦ヲ橋ヨリ櫻ニ變更セリ						

(部内限一頁)

0783

海軍公報

第二千九十三號

海軍大臣官房

大正八年九月十日(水)

○通牒

教本第七〇八號ノ二

大正八年九月十日

海軍教育本部長 村上格 一

鎮守府司令長官殿

練習生採用ノ件

左記ニ依リ砲術練習生ヲ採用ス

種別	第四十期高等科	第四十三期普通科
	員數	員數
横	二八	八三
吳	二八	八三
佐	二九	八四
舞	二二	六六
進級停年計算期	八年八月三十一日	同
特許附與後ノ日數計算期	八年九月三十日	上

候補者選出期限	八年十一月二十日
採用試験期日	八年十月二十一日
砲術學校へ所見表到達期日	八年十二月十日
身體欄ニ身長記入ヲ要ス	同
入校豫定期日	九年自一月六日
右通知ス	同

○辭令

○大正八年九月六日

任海軍技手 給八級俸

海軍技手 池田 吉ニ

海軍技術本部附ヲ命ス(訪海軍省)

海軍技手 田中 遙

英國へ出張ヲ命ス(訪海軍省)

海軍書記 萬力 毅

副官附ヲ命ス(訪海軍技術本部)

海軍公報第二千九十三號 大正八年九月十日

七五三

0784

○艦船所在

相定ヲ要セス

○九月十日午前十時

【横須賀】 朝日、春日、八雲、橋立、天龍、

夕立、夕暮、三日月、白露、吹雪、有明、陽炎、

龍、曙、縦、楯、不知火、薄雲、浦風、潜一、潜二、

潜三、三、燧、鷗、白鷹、高崎、青島、勝力、

潜一

【大 湊】 追風、彌生、夕風、疾風、膠州

【吳】 常磐、淺間、矢矧、千歲、明石、周防、

千代田、石見、駒橋、初雪、初春、春風、時雨、潜九、

潜一、潜二、潜三、潜四、

潜五、潜六、潜七、潜四、水六八、水六七、水七〇、

水七一、野間、劍崎、潜四

【宮 島】 滿州

【神 戶】 梨、竹

【德 山】 山城、伊勢、日向、扶桑、攝津、鹿島、

薩摩、生駒、若宮、龍田、海風、山風、榎、榎、榎、

桑、椿、榎、榎、榎、榎、榎、榎、榎、榎、榎、榎、

榎、榎、榎、榎、榎、榎、榎、榎、榎、榎、榎、榎、

榎、榎、榎、榎、榎、榎、榎、榎、榎、榎、榎、榎、

榎、榎、榎、榎、榎、榎、榎、榎、榎、榎、榎、榎、

榎、榎、榎、榎、榎、榎、榎、榎、榎、榎、榎、榎、

榎、榎、榎、榎、榎、榎、榎、榎、榎、榎、榎、榎、

榎、榎、榎、榎、榎、榎、榎、榎、榎、榎、榎、榎、

榎、榎、榎、榎、榎、榎、榎、榎、榎、榎、榎、榎、

榎、榎、榎、榎、榎、榎、榎、榎、榎、榎、榎、榎、

榎、榎、榎、榎、榎、榎、榎、榎、榎、榎、榎、榎、

榎、榎、榎、榎、榎、榎、榎、榎、榎、榎、榎、榎、

榎、榎、榎、榎、榎、榎、榎、榎、榎、榎、榎、榎、

【長 崎】	澤風
【種子 島】	志自岐
【舞 鶴】	香取、日進、吾妻、新高、見島、
【朝風】	若葉、潮、子日、峯風、時津風、
【伏 木】	潜〇五
【七 尾】	潜〇三、潜〇七
【美保 灣】	安藝、浦波、磯波、綾波
【境 海】	伊吹、鞍馬
【鎮 海】	村雨、白雲、朝潮、朝霧
【旅 順】	水無月、長月、菊月、卯月
【青 島】	鷲、鶴、鶉、雲雀
【馬 公】	櫻、橘、檉、桐
【打 狗】	勞山
【南洋群島】	最上、松江、花咲丸
【水七四】	如月、神風、響、水七三、水七二、
【初霜】	對馬、水七五
【浦鹽斯德】	三笠
【上 海】	野分
【鎮 江】	白雪
【南 京】	松風
【九 江】	被
【漢 口】	須磨、淀、宇治
【長 沙】	伏見

重慶 鳥羽
香港 嵯峨
ホソガイ 室戸
タワオ 利根

航海中

洲崎丸(八月二十七日佐世保發)
 隅田(四日漢口發上海へ)
 華丙(六日門司發)
 富士(六日横須賀發)
 ト磐手(六日新嘉坡發「ラフアン」へ)
 ▲千早(六日「タウスク」發「ラングルト」へ)
 秋津洲(九日厦門發汕頭へ)
 野島(九日横須賀發吳へ)
 三池丸(九日舞鶴發浦鹽へ)
 關東(九日西戸崎發横須賀へ)
 辨天丸(十日徳山發青島へ)
 津輕(十日清水發横須賀へ)

○雜款

○北廻隊巡航豫定變更(八月十五日)
(號外参照)
 舊獨國潜水艦第一巡航隊巡航豫定表中釜山ノ寄港ヲ取
 止メラントリ(海軍省副官)

○監督官更迭
 内地造兵、造船監督官左ノ通り更迭ス
 駐在地 舊監督官 新監督官
 室蘭 後藤中佐 平岩大佐

○正誤
 本月六日令達欄購買名簿改正ノ件中三十三ノ項常國塗
 料株式會社ハ帝國塗料株式會社ノ誤
 昨九日辭令欄佐藤海軍屬辭令中艦收局ハ艦政局ノ誤

○虎刺刺
 九月十日内務省衛生局報告

日計	發生月日	府縣	發生ノ場所	新患者
八	九月八日	神奈川	横濱市港町五丁目河原繁留小蒸汽船内	眞一疑保菌疑似ノ風
四	同	福岡	田川郡五、企救郡	
四	同	同	田川郡三、遠賀郡	
一	同	同	田川郡三、八幡市	
六				

海軍公報第二千九十三號 大正八年九月十日

七五五

0786

累計 三九 六 一四

備考 神奈川縣ハ初發
 訂正 昨報門司市疑似ノ真症決定一、トアルハ真症
 新患者發生ノ誤記
 日計欄内真症一六トアルハ一七ノ、疑似ノ真
 症ト決定四トアルハ三ノ誤記
 累計欄真症一一トアルハ一二五ノ、疑似九
 二トアルハ九八ノ誤記
 ○海港檢疫ニ依ル患者發見ノ分

九月八日	福岡	停船中ノ香港丸 三等船客
日計		
累計	三	三

訂正 昨報累計欄保菌者一八トアルハ二〇ノ誤記

(部内限二頁)

0787

海軍公報

第二千九十四號

海軍大臣官房

大正八年九月十一日(木)

○令 達

官房第三一五四號
大正七年官房第一六四七號勳勉手当支給ノ件中左ノ通改正ス

大正八年九月十一日

海軍大臣 加藤友三郎

「第五號」ヲ「第八號」ニ改ム
別表中「給料月額額六十圓以下」ヲ「給料月額額九十圓以下」ニ改ム

附則

本令ハ大正八年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

○通 牒

官房第三一五五號

大正八年九月十一日

海軍次官 柄内曾次郎

關係各廳長殿
勳勉手当支給ニ關スル件
今般達第百五十號ヲ以テ勳勉手当支給細則中改正ヲ加ヘ勳勉手当支給ノ範圍ヲ擴メテラレタルカ尙現案ノ監督

海軍公報第二千九十四號

大正八年九月十一日

七五七

若ハ現場ノ監視ニ當ル者、工事又ハ製造材料ノ出納整理、工事費整理等ハ直接現業ニ關聯スル業務トシテ勳手当支給ノコトニ一定致候條之カ實施ニ方リテハ當該監督者ヲシテ嚴ニ取締ニ任セシメ苟モ濫費ノ弊ニ陥ラサル様注意相成度
右依命申進ス

追而明治四十年官房第一四二七號ノ主旨ハ細則改正ト同時ニ自然變更セラレタル儀ニ有之候
級ニ付

官房第三一〇八號ノ三
大正八年九月十一日

海軍次官 柄内曾次郎

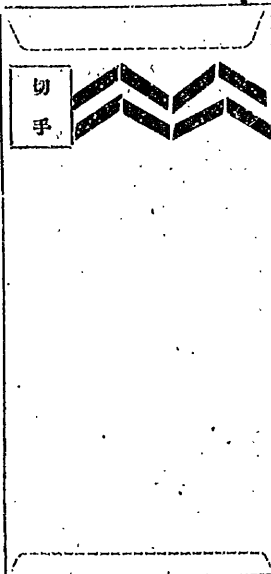
各鎮守府司令長官殿
充員召集實施ノ場合發送スル郵便物ニ關スル件

充員召集ノ實施ニ當リ關係官公署ヨリ其ノ事務ニ係ル文書ヲ發送スル郵便物及召集通報人ヨリ應召員ヘ召集通報ノ爲發送スル郵便物ノ確實速達ヲ期スル爲該郵便物ニハ海軍召集令施行細則第二様式ノ封筒ニ準スルモノヲ使用スルカ又ハ普通封筒若ハ端書ノ表面ニ左記圖面ノ如キ標示ヲ記入シテ一般郵便物ト其ノ區別ヲ明瞭

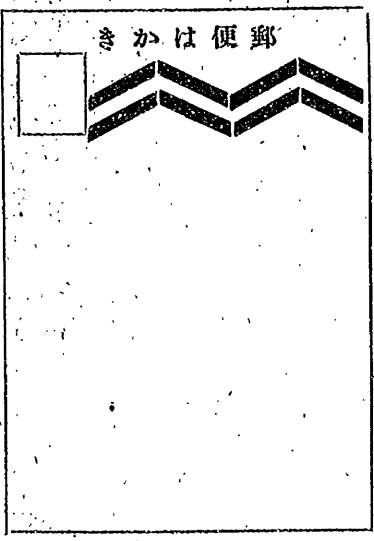
ナラシムル如ク夫々關係官公署へ注意相成様致度
右依命申進ス

追テ本件郵便物ノ取扱方ニ關シテハ主務省ヨリ夫々
各地郵便局所ニ示達濟ニ付御承知相成度申添候

封筒表面



端書表面



備考 封筒用紙ハ適宜白色若ハ淡鼠色ニシテ
波形ハ紅色トス

經豫第六四七號

大正八年九月十一日

海軍省經理局長 志 佐 勝

各委任仕拂命令官殿

今般達第五百十號ヲ以テ明治四十年達第一六號勸勉手
當支給細則中改正セラレ候處右支給ニ要スル費額ハ當
該配付豫算内ニ於テ支出ノコトト御承知相成度
右通知ス

經豫第六四八號

大正八年九月十一日

海軍省經理局長 志 佐 勝

大正八年度歳出科目解疏中軍事費(款)衣糧費(項)
雜費(目)雜件費(節)「報酬金」ノ下、軍事費(款)患者
費(項)雜費(目)雜件費(節)「掃除費」ノ下及軍事費
(款)經營費(項)保管及運搬費(目)雜件費(節)「賄費」
ノ下ニ何レモ「勸勉手當」ヲ追加セラル
右通知ス

官房第三一五六號

大正八年九月十一日

海軍省副官 小林 隣 造

0789

各鎮守府、各要港部副官
聯合、練習艦隊副官 殿
教育本部、技術本部副官

陸軍特別大演習陪觀ニ關スル件

本年秋季舉行可相成陸軍特別大演習ノ際左記ノ武官へ陪觀可被差許趣陸軍省副官ヨリ通牒有之候ニ付陪觀希望有之候ハハ取纏ノ上其官氏名ヲ來九月二十五日迄ニ當方へ御通知相成度
右通牒ス

追テ陪觀規定ハ御通知ニ依リ其ノ所要數ヲ當方ヨリ可及送付候又右ニ要スル旅費ハ特ニ増額相成ラサル儀ト御承知相成度

記

特別大演習ノ陪觀ヲ許可セラルヘキ武官左ノ如シ

- 一、在職陸海軍將校、同相當官
- 二、在郷陸海軍將官、同相當官
- 三、演習參加師團管內ニ居住スル在郷陸海軍上長官及士官

○ 辭令

○大正八年九月十日

任海軍技手

給月俸參拾七圓

池内 利治

吳海軍經理部勤務ヲ命ス(請海軍省)

海軍技手 池内 利治

海軍造兵廠製造部勤務ヲ免シ海軍造兵廠製造部附ヲ命ス
海軍技手 眞下 榮

製造部勤務ヲ命ス(以上請海軍造兵廠)
海軍技手 佐藤 勝

○ 艦船所在

△印ハハキ
指定ヲ要セス

○九月十一日午前十時調

【横須賀】 朝日、春日、八雲、橋立、天龍、夕立、夕暮、三日月、白鷺、吹雪、有明、陽炎、

鵬、隼、樞、不知火、薄雲、浦風、潜一、潜二、潜一三、潜一四、白鷹、高崎、青島、勝力、

潜〇一
【大湊】 追風、彌生、夕風、疾風、膠州

【吳】 常磐、淺間、矢矧、千歲、明石、周防、千代田、石見、駒橋、初春、春風、時雨、潜九、

潜一、潜一〇、潜一一、潜一二、潜一三、潜一四、潜一五、潜一六、潜一七、潜一八、潜一九、潜二〇、

潜二一、潜二二、潜二三、潜二四、潜二五、潜二六、潜二七、潜二八、潜二九、潜三〇、

潜三一、潜三二、潜三三、潜三四、潜三五、潜三六、潜三七、潜三八、潜三九、潜四〇、

【宮島】 滿州

【神戶】 梨、竹

【德島】 山、日向、扶桑、攝津、鹿島、

薩摩、生駒、若宮、龍田、海風、山風、檀、檜、

水七〇、水七一、野間、劍崎、潜〇四

桑、椿、楨、口榛名、比較、霧島、金剛、▽平戸、筑摩、
 口濱風、磯風、天津風、口谷風、江風、▽阿蘇、韓崎、
 口潛一六、潛八、潛一五、潛一七
 【佐世保】 出雲、敷島、球磨、沖島、口桂、楓、
 梅、楠、口杉、松、柏、口樞、檜、桃、柳、
 口燕、雁、蒼鷹、鶴
 【長崎】 澤風▲
 【種子島】 志自岐
 【舞鶴】 香取、日進、吾妻、新高、見島、
 口朝風、若葉、潮、子日、峯風、時津風▲
 【伏木】 潛〇五
 【七尾】 潛〇七
 【美保灣】 口浦波、磯波、綾波
 【境】 口伊吹、鞍馬▲
 【鎮海】 富士、口村雨、白雲、朝潮、朝霧
 【旅順】 口水無月、長月、菊月、卯月
 【青島】 口鸞、鶴、鴉、雲雀
 【馬公】 口櫻、橋、樺、桐
 【南洋群島】 最上、松江、花咲丸
 【ヒロシマ】 口如月、神風、櫻、水七二、水七五
 【スレヤン】 初霜
 【加那利群島】 對馬
 【浦鹽斯德】 ▽三笠
 【上海】 口野分

鎮江 白雲
 南 京 松風
 九 江 筱
 漢 口 ▽須磨、淀、宇治
 長 沙 伏見
 重 慶 鳥羽
 香 港 艦峨

【航海中】
 洲崎丸(八月二十七日佐世保發)
 隅田(四日漢口發上海へ)
 華丙(六日門司發)
 ▽磐手(六日新嘉坡發「ラプアン」へ)
 ▽千早(六日「タウスタ」發「ラングルト」へ)
 室戸(七日「ホンガイ」發「徳山」へ)
 利根(七日「タワラ」發「サンダカン」へ)
 秋津洲(九日廈門發汕頭へ)
 野島(九日横須賀發吳へ)
 三池丸(九日舞鶴發浦鹽へ)
 關東(九日西戸發横須賀へ)
 辨天丸(十日徳山發青島へ)
 津輕(十日清水發横須賀へ)
 肥前(十日佐世保發浦鹽へ)
 潛〇三(十日七尾發敦賀へ)

0791

口水七三、水七四(十日)ニコライフスク「發」タムラヲ
 勞山(十日)打狗發蘇濱()
 安藝(十日)境發舞鶴()
 潜〇二、潜〇六(十日)大分發長崎()

○雜款

○運送船劍崎第十七回行動豫定

地名 着 發
 吳 九月十一日
 佐世保 九月十二日 十五日
 吳 十六日

○特設運送船辨天丸第四回行動豫定中變更(九月四日)
(本欄参照)

地名 着 發
 德山 九月十三日 十八日
 青島 二十二日 二十三日
 吳山 二十三日

○郵便物發送先

運送船劍崎宛
 九月十四日迄到達見込ノモノハ 佐世保
 其ノ後ハ 吳 留置

運送船膠州宛
 本日以後

横須賀郵便局氣付

○滞在地變更
 海軍中佐園田義治ハ舞鶴ヨリ横須賀ニ滞在地變更ノ儀
 本月八日認許セラレタリ

○虎列刺

九月十日臨時青島防備隊軍醫長發電
 三十一日虎列刺疑似トシテ入院セシ第十五艇隊准士官
 ノ子供ト共ニ隔離サレシ准士官ハ八日無菌トシテ退院
 九日歸隊セシニ其後保菌者ナルコト判明シ即日入院ス
 九月十一日内務省衛生局報告

發生月日	府縣	發生ノ場所	新患者
九月九日	福岡	田川郡	眞疑保 <small>疑似ノ眞 症ト決定</small> 三
同	同	八幡市	一
同	同	遠賀郡一、田川郡	五
同	同	企救郡一、遠賀郡	三

累計	日計	九月九日 長崎 停船中ノ米國汽船 シヤーマン號水夫	○海港檢疫ニ依ル患者發見ノ分						
			備考 昨報遠賀郡眞症四ノ内二名ハ保菌者ノ誤報ノ 旨追報アリ	至九月八日 自八月二十 自六日	同	同	同	同	
			沖繩	八重山郡竹富村	六				
			同	石垣村	一〇				
			同	大濱村	二				
			同	宮古郡平良村	三				
			同	下地村	三				
			同	伊良部村	七				
累計	日計				五	六	一	四	
					一	五	一	六	

0793

海軍公報

第二千九十五號

海軍大臣官房

大正八年九月十二日(金)

○辭令

海軍技手 池田 吉二
 第六部附ヲ命ス(前海軍技術本部)
 海軍屬 佐藤 勇
 第一課附ヲ命ス(前海軍省總政局)

○艦船所在

指定ヲ要セス

○九月十二日午前十時調

【横須賀】 朝日、春日、八雲、津輕、橋立、天龍、
 夕立、夕暮、三日月、白露、吹雪、有明、陽炎、
 龍、龍、龍、不知火、薄雲、浦風、潜一、潜二、
 潜三、巨炮、鷗、白鷺、高崎、青島、勝力、
 潜〇一
 【大湊】 巨追風、彌生、夕風、疾風、膠州
 【小樽】 武藏
 【吳】 常磐、矢矧、千歲、明石、千代田、
 石見、駒橋、巨初雪、初春、春風、時雨、潜九、潜一、
 潜二、潜三、潜四、潜五、潜六、
 潜七、潜四、巨水六八、水六七、水七〇、水七一、

野間、潜〇四

神 戸 梨、竹

【德山】 口山城、伊勢、日向、扶桑、滿州、龍田、

巨海風、山風、檜、巨榎、桑、梅、楨、口榛名、比叡、

霧島、金剛、巨平戸、筑摩、巨濱風、磯風、天津風、

巨谷風、江風

【佐伯】 生駒、周防、淺間

【佐世保】 出雲、敷島、球磨、沖島、巨桂、楓、

梅、楠、巨杉、松、柳、巨樫、巨檜、巨桃、巨柳、

巨燕、雁、花鷹、鶴

【長崎】 澤風、潜〇二、潜〇六

【種子島】 志自岐

【舞鶴】 香取、安藝、日進、吾妻、新高、見島、

巨朝風、若葉、柳、子日、峯風、時津風、

【敦賀】 潜〇三

【美保灣】 巨浦波、磯波、綾波

【境】 巨伊吹、鞍馬、

【鎮海】 巨村雨、白雲、朝潮、朝霧

【旅順】 巨水無月、長月、菊月、卯月

【青島】 巨鷲、鶴、雲雀

【馬公】 巨櫻橋、橋、桐

海軍公報第二千九十五號 大正八年九月十二日

七六三

0794

南洋群島

最上、松江、花咲丸

加那利群島

加那利、神風、水七二、水七五

浦鹽斯德

對馬、初霜

上海

三笠、隅田、野分

鎮江

白雲

南京

松風

九江

毅

漢口

淀

長沙

伏見

重慶

鳥羽

香港

艦

汕頭

利根

廈門

磐手

福州

サンダカン

汕頭

利根

汕頭

利根

航海中

千早(六日)「タウスク」發「ランゲルト」()

洲崎丸(六日)「タラカン」發「横須賀」()

室戸(七日)「ホンガイ」發「徳山」()

秋津洲(九日)厦門發汕頭()

野島(九日)横須賀發吳()

三浦丸(九日)舞鶴發浦鹽()

關東(九日)西戸發横須賀()

辨天丸(十日)徳山發青島()

肥前(十日)佐世保發浦鹽()

水七三、水七四(十日)「ニコラインスク」發「タムラ」()

勞山(十日)打狗發蘇澳()

華丙(十日)二見發()

須磨(十一日)漢口發鎮江()

宇治(十一日)漢口發沙市()

劍崎(十一日)吳發佐世保()

潜〇七(十一日)七尾發敦賀()

潜〇五(十一日)伏木發敦賀()

富士(十一日)鎮海發佐世保()

攝津、鹿島、薩摩、若宮、阿蘇、韓崎、潜一六、潜八、潜一五、潜一七(十二日)徳山發佐伯()

○ 雜 款

○ 郵便物發送先

軍艦武藏宛

本日以後

第一遣外艦隊司令部、須磨宛

當分ノ間

軍艦津輕宛

九月十四日迄到達見込ノモノハ

九月二十四日迄 同

其ノ後ハ

横須賀郵便局留置

上海郵便局氣附

横須賀

清水郵便局氣付

横須賀

0795

○虎列刺

九月十二日內務省衛生局報告

發生月日	府縣	發生ノ場所	新患者	
			眞	疑保
九月十日	福岡	遠賀郡		
	同	田川郡	五	二
	大分	下毛郡如水村		一
九月 七月 八月 九日	沖繩	八重山郡石垣村		三
同 九日	同	宮古郡平良村		三
同 九日	同	那伊良郡村		九
同 同	同	那下里村		五
同 同	同	同郡城邊村		八
日計			五	一〇
累計			一五	二六

備考 大分縣下毛郡如水村ノ疑似一ハ福岡縣田川郡糸田村ニ出稼中本月八日歸宅シ九日發病同日死亡シタルモノ

○海港檢疫ニ依ル患者發見ノ分前日ニ同シ

海軍公報第二千九十五號

大正八年九月十二日

(部内限四頁)

七六五

0796